世界の果てまでシッテQ～スリランカ編～

氏　　名：横矢　清人
担当教科：全教科
時 間 数：10時間
学 校 名：広島市立落合小学校
実践教科：総合的な学習の時間
対象学年：第6学年
人　　数：76人（学年）

【1】単元のテーマ・目標

スリランカの文化や人々の暮らし、考えなどに体験的に触れることや、スリランカや日本が抱える問題や課題について考えることを通して、他の国々への興味関心を広げ、自分自身の生活を振り返ったり、世界の国々の問題や課題に目を向け、自分たちにできることを考えたりする態度を養う。

【2】単元の評価規準例

（ア）関心・意欲・態度	スリランカに関心を持つとともに、世界の他の国々にも目を向け、自ら調べようとする。
（イ）思考・判断・表現	経験や知識を生かし、スリランカや日本の抱える問題や課題について SDGs を用いて考えることができる。
（ウ）技能	写真や資料から目的に合った情報を取り出すことができる。
（エ）知識・理解	スリランカの文化や人々の暮らし、考え方などを理解するとともに、スリランカの問題や課題について知る。 SDGs の目的や意味について理解することができる。

【3】単元設定の理由

〈児童観〉

本学年の児童は、4月に広島市の取組である「ピースサミット作文2018」を書くために平和学習を行い、活動の中で、平和のためには「お互いの国々を知ること」が大切だと考えた。そこで、本年度の総合的な学習の時間では、「世界の果てまでシッテQ」をテーマに世界の国々について学んでいくこととした。夏休み前までには、自分の調べたい国についてテーマを決めて調べる活動を行っている。しかし、その際はただ自分が興味のあることや楽しそうなことなどを調べるだけで、児童は日本も含め世界の国々が抱えている問題や課題には目を向けられていなかった。

そこで、この「世界の果てまでシッテQ～スリランカ編～」を通して、スリランカや日本が抱える問題や課題について考えさせ、「世界の国々はどうなのか？」という新たな問いを児童の中から引き出し、世界の国々の問題や課題に目を向けさせるきっかけとしていきたい。

総合的な学習の時間オリエンテーションの際に行った外国の遊びを楽しむ様子

自分の調べたい国について、調べる内容をイメージマップを使って決めている様子

〈教材観〉

○「スリランカード」

スリランカードはスリランカに関する資料や写真を4～5枚に分割して、それをランダムに児童に配付する。配られた児童は、同じ資料や写真を持った友達を見つけてグループを作り、1つの資料や写真から気付いたことを出し合い、スリランカの情報や日本とのつながりについて考えていく。

児童の興味関心を高め、活動に意欲的に取り組ませることや教師側から教えてしまいがちな基本的な情報（スリランカは紅茶やカレーが有名、ジャヤワルダナ氏についてなど）を児童から引き出すことのできる、参加型学習に適した教材である。

「スリランカード」の写真から気付いたことを話し合う様子

○「スリランカ体験ツアー」

「食べ物」「生活文化」「スポーツ」の3つのブースでスリランカについて体験的に学ぶための活動である。

「食べ物」ブースでは、紅茶やミルクトフィーを飲食したり、スリランカのカレーを盛り付け日本のカレーと比較したり、数種類のスパイスを展示して匂いを嗅いだりする活動を行う。また、スリランカの伝統的なお菓子やスリランカ料理には欠かせないココナッツについて説明をする。

「味わってみよう！食体験」ブース

「生活文化」ブースでは、クイズラリー形式でスリランカの生活や伝統、言葉などについての17問の問題を解く活動を行う。クイズにはスリランカの地名を記しており、クイズに答えたら「スリランカMAP」にSDGｓシールを貼らせるようにする。

「解いてみよう！生活クイズ体験」ブース

「スポーツ」ブースでは、スリランカで有名なクリケットを簡略化して行う。最初にクリケットについての説明をして、投打に分かれて1アウト交代もしくは1ヒット交代で実際に行っていく。

「やってみよう！スポーツ体験」ブース

「スリランカ体験ツアー」は、スリランカの文化を五感を使って体験する中で、児童のスリランカに対する関心を高めるとともに、疑問や問題点を引き出すのに適した活動である。

○「SDGsパズル」

世界の国々の問題や課題について書かれた「問題カード」を、対応するSDGsのロゴが書かれた台紙の上に置いていく。すべて正解の場所に置いていれば、ひっくり返したときに日本に関する写真になる。（この2枚の写真は次時の授業で扱う）

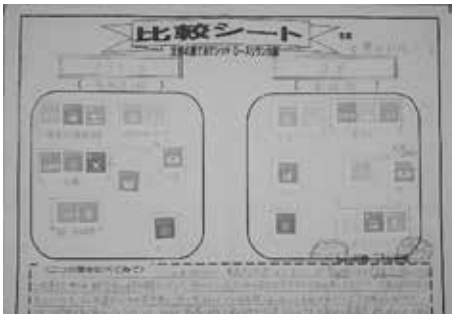
「SDGsパズル」は、世界にどのような問題や課題が存在するのかを知るとともに、SDGsの17個の目標を把握するのに適した教材である。

「SDGsパズル」を行う様子

○「比較シート／SDGsシール」

「比較シート」はスリランカと日本の抱える問題や課題をまとめ、比べやすくするためのシートである。スリランカ、日本それぞれの問題や課題を学習した後、SDGsの中でその国が達成できていない目標のSDGsシールを貼らせる。

「比較シート」や「SDGsシール」を用いてスリランカ、日本の問題を比べることで、問題や課題を一般化することができ、世界の国々とも比べやすくなる。



児童が書いた「比較シート」

〈指導観〉

本単元は2次に分けて単元構成を考えた。

第一次では、ジャヤワルダナ氏の功績から馴染みのないスリランカと日本の深いつながりについて学習させる。その際、「スリランカード」を用いて児童自らスリランカの特色や日本とのつながりに気付けるようにする。また、ジャヤワルダナ氏について知ったことを学習発表会で発表し、保護者や地域に紹介する機会を作る。

第二次では、スリランカについてさらに知りたいことをグループで交流させ、そこで出てきた「食べ物」「スポーツ」「生活・文化」に関する疑問や興味を「スリランカ体験ツアー」を通して体験させていく。ここでは、スリランカで自分自身が体験してきたことをもとにそれぞれのブースを作るようにする。その際、ICT機器を活用しスリランカで撮影した映像を見ることができるようにして疑似体験させたり、カレーに使われているスパイスを五感で比べたり、ルールを簡略化して「クリケット」を行わせたりする。この体験活動を通して、スリランカの魅力や良さを感じさせるとともに、児童から疑問やスリランカの問題点を引き出していく。次時では、スリランカの問題や課題を写真から考えさせ『SDGｓ』を用いて整理させていく。同様に、日本の問題や課題についても地域にある店や風景の写真から考えさせ、『SDGｓ』を用いて整理させていくことで、スリランカと日本を比較しやすくする。

【4】展開計画（全10時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	「『謎解き！スリランカード』を使って、スリランカについて知ろう」 ◎スリランカの基本的なことについて知るとともに、ジャヤワルダナ氏のことを通して、日本とスリランカのつながりを知る	(1) スリランカの基本的なことについて知る (2) グループごとに配られた『スリランカード（スリランカに関する写真や資料）』から情報を読み取る (3) 全体交流で、それぞれの『スリランカード』を関連付けて、スリランカと日本のつながりについて考える (4) ジャヤワルダナ氏を紹介し、スリランカと日本の深いつながりを知る	・パワーポイント ・『スリランカード』
2	「日本とスリランカのつながりを伝えよう」 ◎学習発表会で、ジャヤワルダナ氏について学習したことを伝える	(1) 保護者や地域の方々に向けて、総合的な学習の時間で学習したことを発表する	

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
3	「スリランカの『○○についてもっと知りたい！！』を話し合おう」 ◎これまで学習したことから、スリランカについてさらに知りたいことを出し合い、交流することができる	(1) 学習発表会で発表したジャヤワルダナ氏について振り返る (2) 付箋紙にスリランカについてさらに知りたいと思うことを個人で書き出す (3) グループごとに交流し、付箋紙を分類整理する (4) 次時の予告を聞く	・付箋 ・台紙 ・ジャヤワルダナ氏の写真
4・5	「スリランカを五感で感じる『体験ツアー』」 ◎スリランカの文化を体験し、他国の文化の良さや日本との違いに気付くことができる	(1) 学年全体で、ルール説明を聞く (2) グループごとに3つ【食べ物ブース(家庭科室)、スポーツブース（グラウンド)、生活クイズブース（体育館)】の体験を行う。【資料１】 (3) 体験を通して感じたことや考えたことをグループや学年全体で交流する	・体験ツアー ・スリランカ MAP
6・7	「スリランカには、どのような問題や課題があるのだろうか？」 ◎写真からスリランカの抱える問題や課題に気付き、グループで交流し合う中で、その原因ついて考えることができる	(1) 前時の振り返りから、学習課題を作る (2) 提示された写真【資料２】を５つに分類整理し、タイトルを付ける (3) それぞれの写真について教師からの解説を聞き、５つの問題・課題の原因について考える (4) 全体で交流する (5)『SDGs』について紹介する	・スリランカの写真 ・「SDGs」の説明用パワーポイント ・課題発見シート
8	「SDGs について詳しく知り、スリランカの問題や課題をまとめよう」 ◎スリランカの抱える問題や課題を「SDGs」を使って整理し、発展途上国が多くの課題を抱えていることに気付くことができる	(1)「SDGs パズル」を用いて、SDGs の目標について詳しく知る (2) スリランカの抱える問題課題を「比較シート」に SDGs シールを貼って整理する (3) 振り返りを行う	・比較シート ・SDGs パズル
9 本時	「日本にはどのような問題や課題があるのだろうか？」 ◎日本の抱える課題や問題を「SDGs」を用いて整理し、発展途上国だけでなく先進国にも様々な問題や課題があることに気付くことができる	(1) 写真【資料３】から読み取れる日本の課題についてグループで話し合う (2) 全体で交流する (3) 全体交流で出た考えを整理し、見出しを付ける。 (4)「比較シート」に SDGs を使って日本の問題や課題をまとめる	・日本（地域など）の写真 ・付箋 ・比較シート

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
10	「『先進国』と『発展途上国』を比べて、気付いたことを交流しよう」 ◎「SDGs」を使ってスリランカと日本を比べ、先進国・発展途上国どちらにも問題や課題があることに気付き、他の国にも問題や課題があるのか関心を持つ	(1) 個人で考えたスリランカと日本のSDGsの達成状況を班ごとに交流する (2) SDGsでスリランカと日本を比べて気付いたことを書く。 (3) 全体交流を行う	・比較シート
次単元	「世界の果てまでシッテQ～世界の国々編～」 ① 自分が調べていた国について、SDGsの観点から再度調べていく ② 世界の国々にはどの国にも問題や課題があることに気付く ③ 世界の国々が抱える問題や課題を解決するために、今の自分たちにできることはないかを考える ④ 世界の国々が抱える問題や課題を解決するために、ユニセフ募金活動（仮）を行う		

【5】本時の展開

過程 時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	1. 前時の振り返りを行う。 2. 本時の学習課題を把握する。 日本にはどのような問題や課題があるのだろうか？	○スリランカにはどのような課題や問題があったかを想起させる。 ○日本が「先進国」ということを押さえ、日本を先進国の一つとして一般化して考えられるようにする。	・課題発見シート
展開 (30分)	3. 写真から読み取れる日本の課題についてグループで話し合う。 〈子どもから出てきた日本の課題〉 ・少子高齢化社会 ・自然災害 ・輸入依存、自給率の低下 ・二酸化炭素による地球温暖化、 ・生活習慣病 ・貧困、格差社会 4. 全体で交流する。	○グループごとに違う写真を提示し、話し合わせるようにする。 ○写真は児童の身近なところを題材に撮り、興味関心を高められるようにする。 ○課題だと思ったことを付箋に書き出させ、写真に貼らせるようにする。 ○発表はグループごとではなく、個別に発表させ、意見をつなげられるようにする。 ○児童から出てきた意見を観点ごとに整理して板書する。	・日本（地域など）の写真 ・付箋

		○問題・課題を出し合ったあと、それぞれの問題の見出しを付けさせるようにする。	
まとめ	5.「比較シート」に SDGs を使って日本の問題や課題をまとめる。	○スリランカのときと同じように、比較シートに日本の問題や課題を SDGs シールを使ってまとめさせる。	・比較シート ・SDGs シール
(10分)	6. 振り返りを行い、次時の予告を聞く。	○次の時間には、これまで書きためた「比較シート」を使って、日本とスリランカを比較することを伝える。	・学習の道標～スリランカ編～（振り返り）

【授業実践の様子】

2枚の写真でフォトランゲージを行い、日本の課題について班で交流している様子

班で話し合った日本の問題や課題について全体交流している様子

板書の様子

【6】本時の振返り

前時までに発展途上国であるスリランカの問題や課題について考え、SDGsを用いてまとめる学習を行った。その学習の振り返りから出てきた「先進国である日本はどうなのだろう？」という疑問を解決していくための時間として本時を設定した。

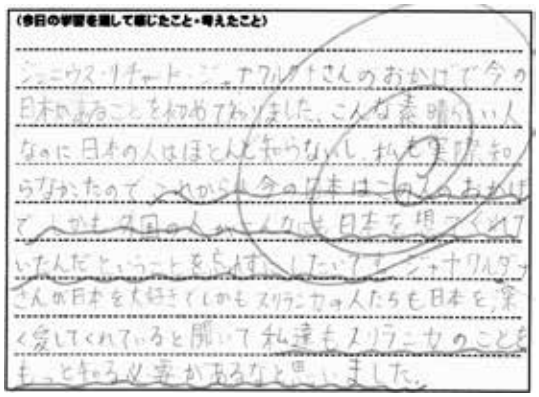
前時にSDGsについて詳しく知る活動を取り入れていたことで、子どもたちは写真から日本の問題や課題をスムーズに考えることができたように思う。また、10枚の身近な地域や風景の写真を使い、日本の抱える問題や課題を見付けさせるようにしたことで、子どもたちは意欲的に考えることができた。本時では写真を各グループに2枚ずつしか配らなかった。そうすることで、全体交流の際にそれぞれのグループで出てきた意見を比較し、共通点や相違点を見付けようとする姿も見られ、全体交流する必然性が生まれた。これまで他教科で学習したことやニュースなどで取り入れた知識を生かして日本の問題や課題を見付けようとする姿も見られ、教科で身に付けた力を活用することができていた。

ただ、活動内容が多く、時間内に収まりきらなかったので、活動を精選するか２時間扱いとして設定するなどの工夫が必要であった。

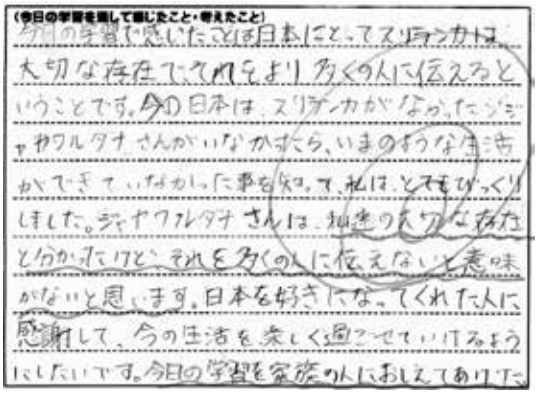
【7】単元を通した児童生徒の反応／変化

〈児童の振り返り〉

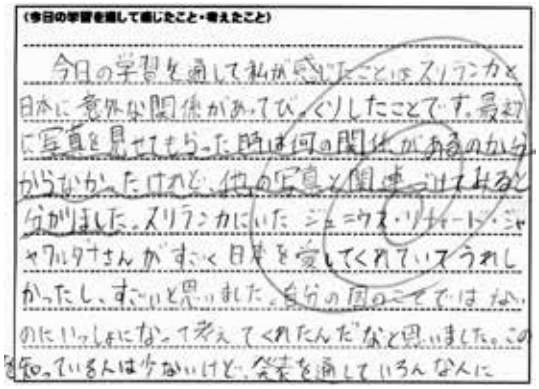
○第１時


（今日の学習を通して感じたこと・考えたこと）

ジャヤワルダナさんのおかげで今の日本があることを初めてわかりました。こんな素晴らしい人なのに日本の人はほとんど知らないし、私も全然知らなかったので、これから今の日本はこのジャヤワルダナさんのおかげで、かも、多くの人がこんなに日本を想ってくれていたんだということをもっと知ってほしいです。ジャヤワルダナさんが日本を大好きでしかもスリランカの人たちも日本を深く愛してくれていると聞いて私達もスリランカのことをもっと知る必要があるなと思いました。


（今日の学習を通して感じたこと・考えたこと）

今日の学習で感じたことは日本にとってスリランカは大切な存在でそれをより多くの人に伝えるということです。今の日本は、スリランカがなかったジャヤワルダナさんがいなかったら、いまのような生活ができていなかったことを知って、私は、とてもびっくりしました。ジャヤワルダナさんは、私達の大切な存在と分かったりと、それを多くの人に伝えないと意味がないと思います。日本を好きになってくれた人に感謝して、今の生活を楽しく過ごせていけるようにしたいです。今日の学習を家族の人におしえてあげた


（今日の学習を通して感じたこと・考えたこと）

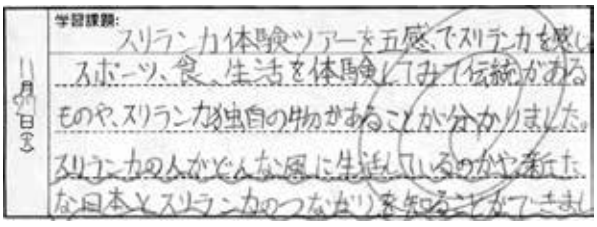
今日の学習を通して私が感じたことはスリランカと日本に意外な関係があってびっくりしたことです。最初に写真を見せてもらった時は何の関係があるのかなからなかったけれど、他の写真と関連づけてみると分かりました。スリランカにいたジョニウス・リチャード・ジャヤワルダナさんがすごく日本を愛してくれていてうれしかったし、すごいと思いました。自分の国のことではないのにいっしょになって考えてくれたんだなと思いました。この知っているんは少ないけど、学校を通していろんなんに

（今日の学習を通して感じたこと・考えたこと）

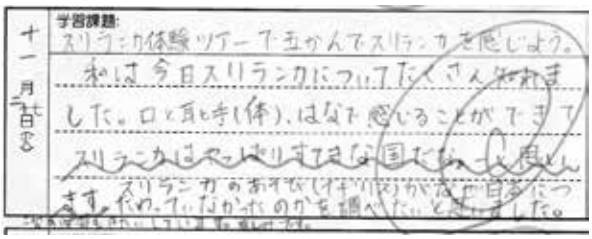
ジョニウス・リチャード・ジャヤワルダナがやったことでいまの日本があることが分かりました。この人は日本にとってもスリランカにとってもいたいない人なんだなと思いました。午後のこうちゃなどでもいつものんでいるものがスリランカのものだと聞いてびっくりしました。日本とスリランカはいろんなところでつながっていることが分かりました。

「スリランカード」で様々な写真や資料から、スリランカやジャヤワルダナ氏について学習したことで、ジャヤワルダナ氏への感謝の気持ちを述べたり、ジャヤワルダナ氏が日本のためにしたことを伝えていこうとしたりする記述が見られた。また、「スリランカード」での活動を通して、複数の資料を関連付けて考えていく良さを感じる児童も多くいた。

○第4・5時

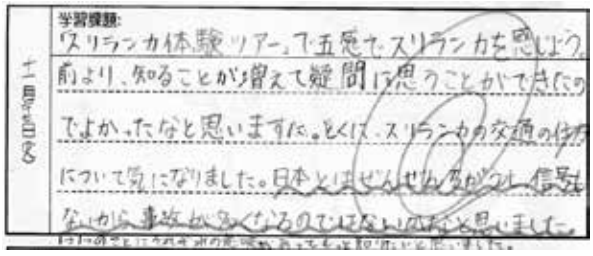

学習課題：

スリランカ体験ツアーを五感でスリランカを感じ、スポーツ、食、生活を体験してみて伝統があるものや、スリランカ独自の物があることが分かりました。スリランカの人がどんな風に生活しているのかや新たな日本とスリランカのつながりを知ることができました。


学習課題：

スリランカ体験ツアーで五かんでスリランカを感じよう。

私は今日スリランカについてたくさん知れました。口と耳と手(体)、はなで感じることができてスリランカはやっぱりすてきな国だなと感じます。スリランカのあすなろ(オキツ)がなぜ自然につかっていなかったのかを調べたいと思いました。

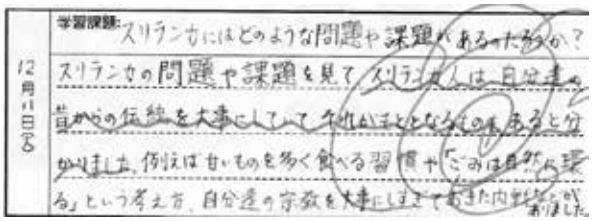

学習課題：

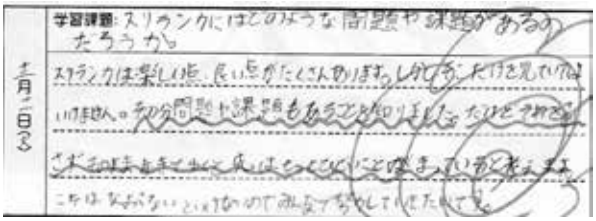
「スリランカ体験ツアー」で五感でスリランカを感じよう。

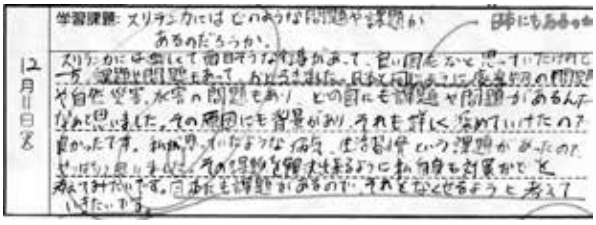
前より、知ることが増えて疑問に思うことができたのでよかったなと思いますた。とくに、スリランカの交通の仕方について気になりました。日本とはぜんぜんちがって、信号がないから事故が多くなるのではないかなと思いました。

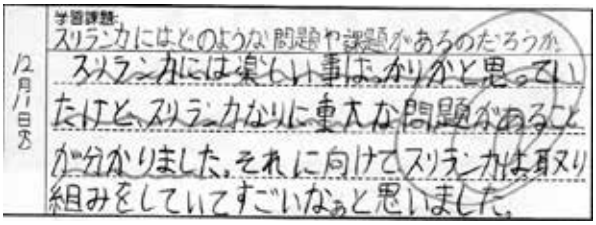
「スリランカ体験ツアー」を通して、スリランカの良さや新たな日本とのつながりに気付く記述が見られた。また、食べ物ブースや生活文化クイズブースの活動内容から、スリランカの人々の生活における問題点について記述する児童もいた。

○第6・7時



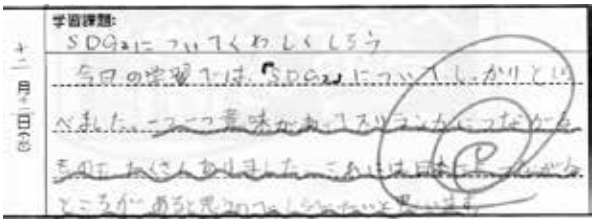


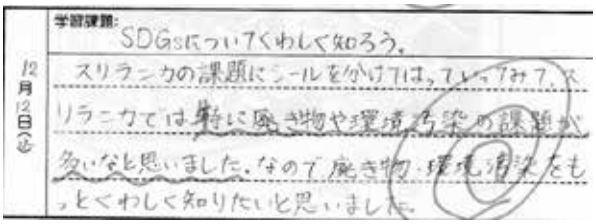


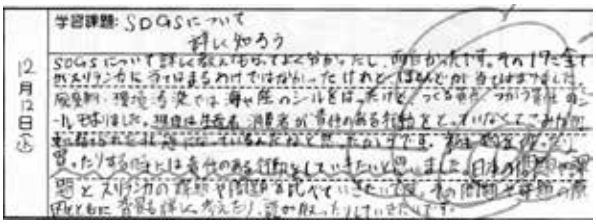


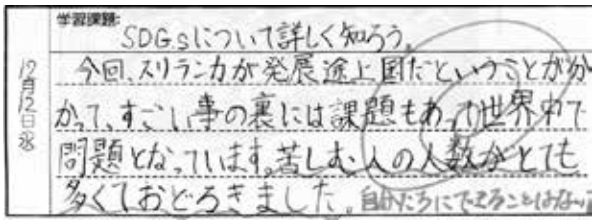
スリランカという国に対する考え方が「楽しい国」「面白そうな国」から「多くの問題や課題を抱えている国」へと変容している記述が多く見られた。また、スリランカの将来を心配し「このまま生きていくと先はもっとひどいことが待っている」と考え、持続可能な社会の必要性を感じている児童もいた。

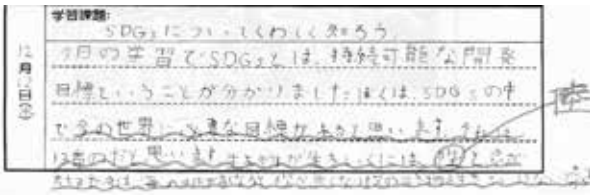
○第８時





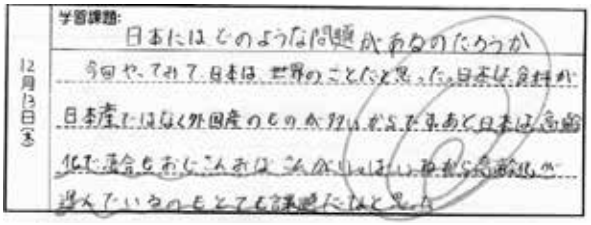


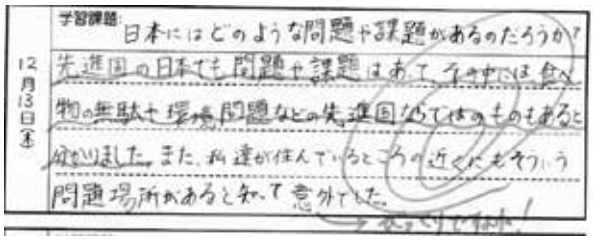


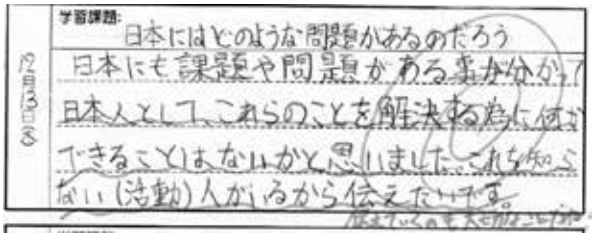


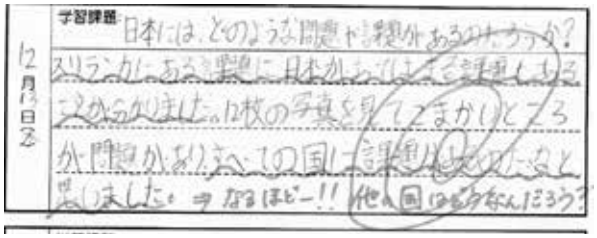
スリランカの問題や課題についてSDGｓを使ってまとめたことで、「日本はどうなのだろう？」という疑問が生まれ、次時の学習への意欲が高まっている様子が見られた。

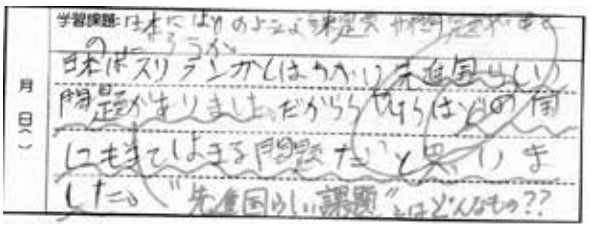
○第9時（本時）

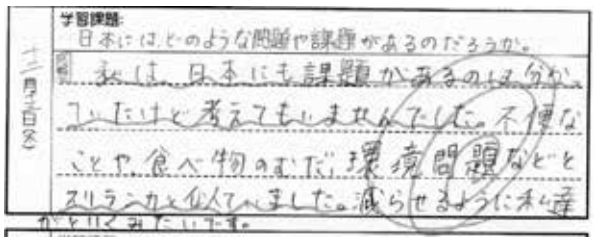





学習課題：日本にはどのような問題があるのだろう
日本にも課題や問題があることが分かって日本人として、これらのことを解決するために何ができることはないかと思いました。これを知らない（活動）人がいるから伝えたいです。

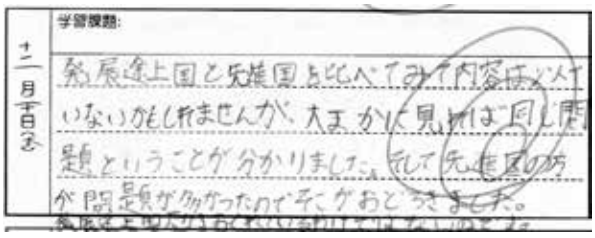

学習課題：日本には、どのような問題や課題があるのだろうか？
スリランカにある問題に日本がおしえてもらえることからかりました。日本の写真を見てどまかしとろか問題がなくて、ほかの国に課題があったなと思いました。⇒なるほど!! 他の国はどうなんだろう？

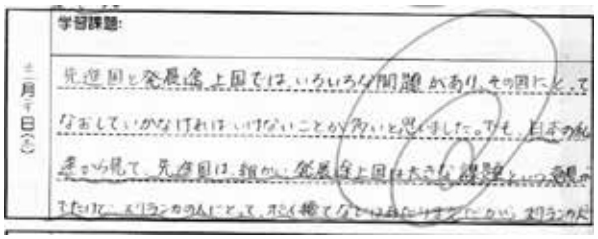

学習課題：日本にはどのような課題や問題があるのだろうか。
日本はスリランカとはちがい先進国らしい問題がありました。だからやはりどの国にもきっとよきる問題だと思いました。"先進国らしい課題"とはどんなもの??

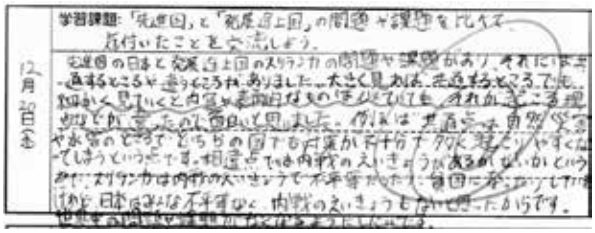

学習課題：日本には、どのような問題や課題があるのだろうか。
私は、日本にも課題があるのは分かっていたけど考えてもいませんでした。不便なことや食べ物のむだ、環境問題などとスリランカと似ていました。減らせるように考えかえていきたいです。

日本にも多くの課題や問題があることに気付き、驚いている振り返りが多く、児童の「日本」という国に対する考えの変容が見られた。また、SDGｓを使ってまとめた際に、原因や背景の着目し先進国ならではの問題や課題があるのではないかと考える児童もいた。

○第10時

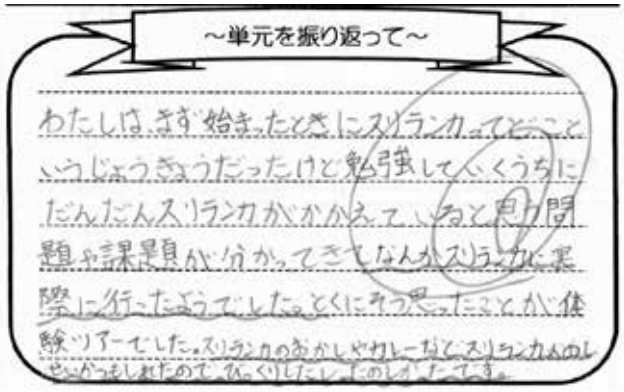

学習課題：
発展途上国と先進国とくらべてみて内容はそれていないかもしれませんが、大まかに見れば同じ問題ということが分かりました。そして先進国の方が問題が多かったのでそこがおどろきました。


学習課題：
先進国と発展途上国では、いろいろな問題があり、その国にとってなおしていかなければいけないことが多いと思いました。でも、日本の私達から見て、先進国は、確かに発展途上国はたくさん問題があったけど、スリランカの人にとって、おくれているとは思わないから、スリランカの人

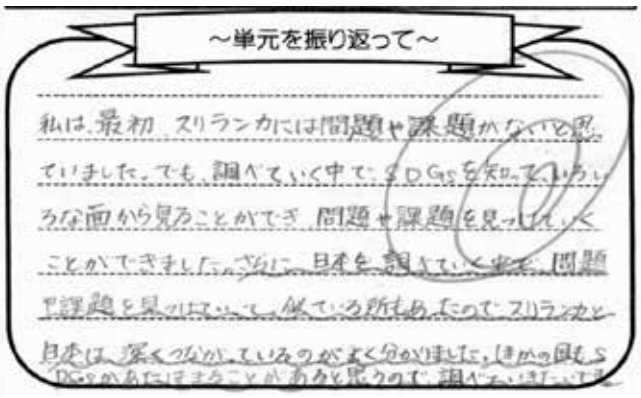

学習課題：「先進国」と「発展途上国」の問題や課題を比べて気付いたことを交流しよう。
先進国の日本と発展途上国のスリランカの問題や課題があり、それにまた通するところや違うところがありました。大きく見れば、共通するところでした。細かく見ていくと内容や表現は文の使い方でいろいろ、それぞれ違ったのが面白いと思いました。例えば、先進国は貧富の差や水害のことなどでどちらの国でも内容が十分すぎるくらいやすくなってしまうということです。相違点では内戦のえいきょうがあるかないかということ。スリランカは内戦のえいきょうで不平等がたくさん出てきたが、日本にはそれほど不平等がなく、内戦のえいきょうもないと思ったからです。

「先進国」「発展途上国」として日本やスリランカの問題や課題を比較することで、日本、スリランカを世界の中の一つの国として考え、「世界の他の国々はどうなのか」と世界の国々に目を向ける児童が多くいた。また、「発展途上国だからおくれているわけではない」という児童の言葉が見られたことから、先進国や発展途上国という国に対する考え方やイメージの変容が見られた。

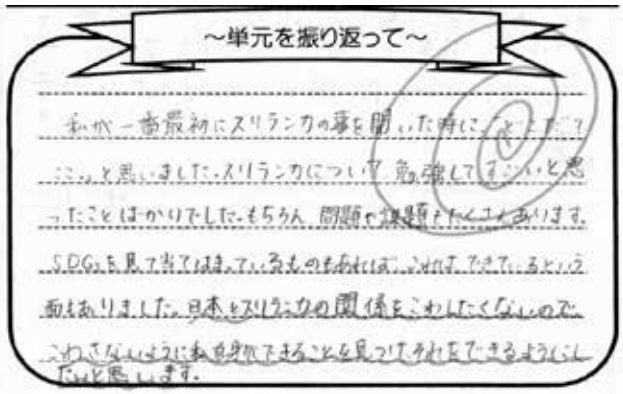
【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

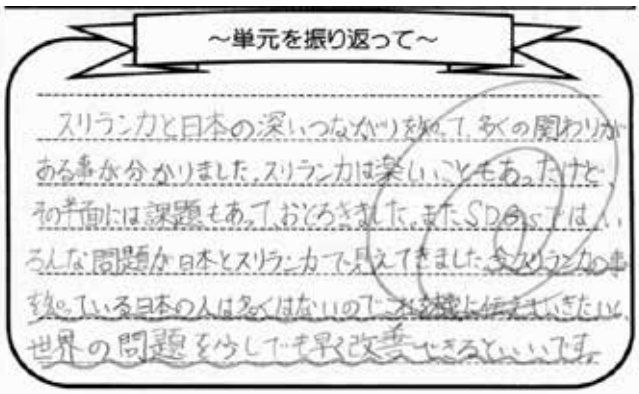

～単元を振り返って～
わたしは、まず始まったときにスリランカってどこ？ いうじょうきょうだったけど勉強していくうちにだんだんスリランカがかかわっていると自分問題や課題が分かってきてなんかスリランカに実際に行ったようでしたとくにそう思ったことが体験リアーでした。スリランカのおかしやれーなどスリランカのしゃしんがもしれたので、びっくりしたしょうのしょうたです。

～単元を振り返って～
10月からはじめたスリランカの単元を振り返ってみれば、スリランカのことについてたくさんのことを知ることができました。最初は、あまりしらない国だとくらべるところがあまりしらなかったけどと調べていくなかで、日本とのつながりをたくさん見つけることができました。日本に調べていくなかで問題なども見つけることができました。

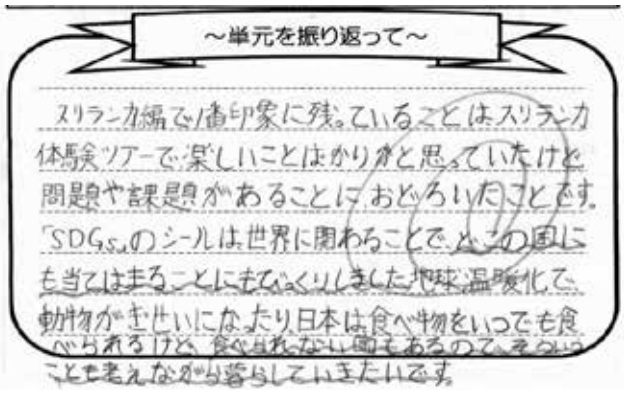


スリランカの体験的な活動で日本との意外なつながりや日本とは異なる文化に触れたことで、スリランカという国を身近に感じ、親しみや関心を持っている記述が多く見られた。また、スリランカの抱える問題や課題を日本の問題や課題と比較し、共通した問題や課題を抱えていることに気付いている児童もいた。「スリランカ体験ツアー」を通して、スリランカの文化の良さや楽しさを感じた児童は、単元の学習からスリランカの負の側面（問題や課題）にも目を向けるようになった。





スリランカの問題や課題に注目し、スリランカのためにできることを考えている児童が見られた。また、「SDGｓ」が世界の国々にとって必要なものであるということを感じ、他の国々の問題や課題についても調べようとする記述が見られた。



スリランカや日本の抱える問題や課題に触れる中で、自分自身の生活の仕方や日本の在り方について考えている児童もいた。「SDGs」を用いたことで、スリランカや日本だけでなく世界の国々にも多くの問題や課題があるのではないかと考え、世界の国々に目を向けようとしている様子が見られた。

【8】自己評価

1. 苦労した点

「SDGs」をどのように学習に取り込んでいくかが一番難しく悩んだところであった。また、「SDGs」自体の捉えが難しいため、子どもたちにどのように教え理解させていけばいいのか、その指導の工夫に苦労した。どうしてもそれぞれの国の問題や課題に目を向けると「発展途上国<先進国」という固定観念を生み出しかねないと考えたので、単元の前半ではスリランカの良さや面白さを味わえる体験的な活動を取り入れ、後半では、先進国にも多くの問題や課題があるということを捉えられるように「SDGs」を日本との比較の中で活用するようにした。しかし、そのような単元の流れにしたことで、1時間当たりの活動が増え、結果的に単元全体での授業時数が多くなってしまった。

2. 改善点

・1時間当たりの活動量が多く、時間内に収まりきらないこともあったので、もう少し長いスパンで計画的に指導計画を立てていく必要がある。
・今回はSDGsをスリランカの問題や課題について学習した後に紹介したが、単元序盤でSDGsを扱うことで、問題や課題に目が向きやすくなり、スリランカの写真を使ったフォトランゲージでさらに多くの意見が出るようになると思う。
・第10時の際に、「発展途上国（スリランカ）より先進国（日本）の方が問題や課題が多い」と考える児童がいたので、比較シートに貼らせたSDGsシールについて全体交流で十分に検討させる必要があった。
・第10時のまとめの際に、児童の意見を引き出し、「この単元で出てきたそれぞれの国の問題や課題はその国の問題や課題のごく一部である」ということをしっかりと押さえるべきだった。

3. 成果が出た点

スリランカ、日本の問題や課題をSDGsを使ってまとめたことで、児童が自然な流れで「世界の国々にはどんな問題や課題があるのだろうか」と考えさせることができたことは大きな成果だった。

また、単元の流れの中では扱いにくかった「ジャヤワルダナ氏」については単元の導入として活用したことで、児童が日本とスリランカのつながりについて驚きを持って学習することができ、そのことが以降の学習への意欲へとつながった。

何より単元を通して学力的に低位の児童が意欲的に学習に取り組む様子が見られたことは一番の成果だった。本単元で行った、『必要な情報を写真や資料から読み取り、そこから自分の考えをもち交流する』という流れは、これまでの各教科で培った力を活かせただけでなく、今後の他教科での学習にも生かさせるにちがいない。

【参考資料】

<書籍>

・2017年度　JICA中国 教師海外研修（スリランカ）授業実践報告書

・2016年度　JICA中国 教師海外研修（ラオス）授業実践報告書

<Webサイト>

・毎日新聞記事「広島土砂災害3年あの日を胸に刻んで…犠牲者77人追悼」
（https://mainichi.jp/graphs/20170820/hpj/00m/040/003000g/9）

・「広島土砂災害ボランティア」
（https://s.webry.info/sp/ds2life.at.webry.info/201408/article_5.html）

・yahooニュース「年末年始の相談先一覧」
（https://news.yahoo.co.jp/byline/ohnishiren/20141219-00041653/）

・日本農業新聞「結んで開いて第二部」（https://www.agrinews.co.jp/p45453.html）

・AFP「ごみをあさる「国の宝」のゾウ、多くは病気に スリランカ」

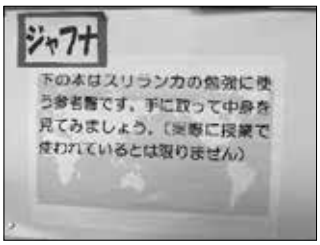
・AFP「豪雨災害のスリランカに各国から救援物資 死者は202人に」

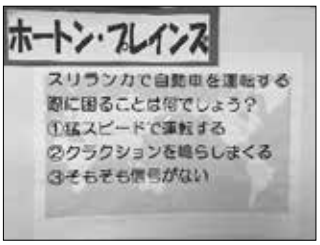
・AFP「スリランカ豪雨災害、死者164人に 依然104人不明」（http://www.afpbb.com/articles）

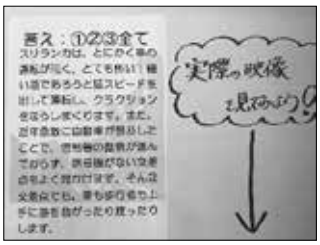
・PHOTOHITO（http://photohito.com/photo/7078917/）

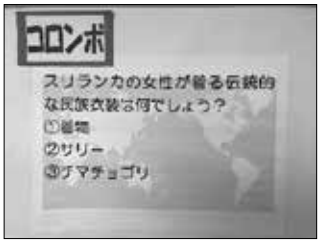
・国際連合広報センター
（http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/）

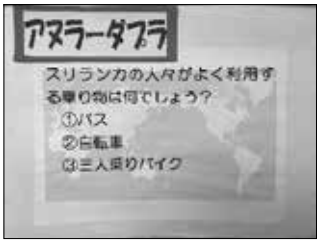
【資料１】「スリランカ体験ツアー」～生活クイズブース～

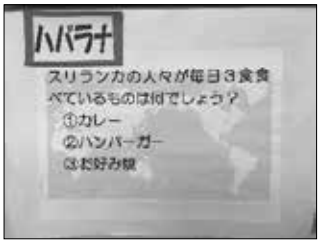


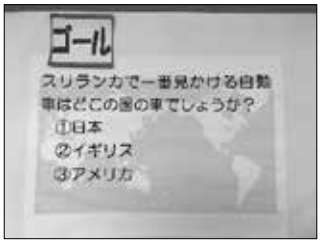


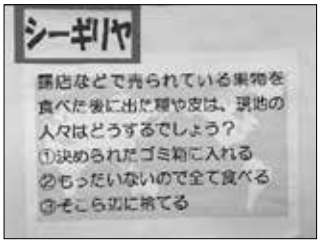


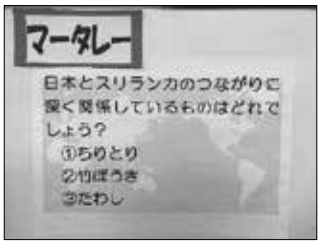


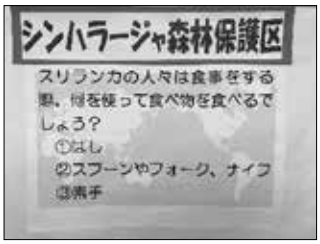


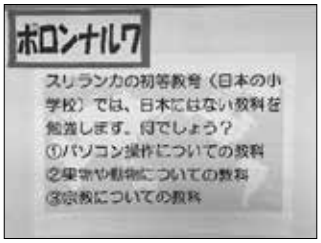


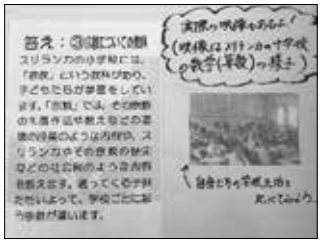


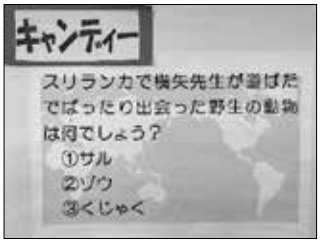












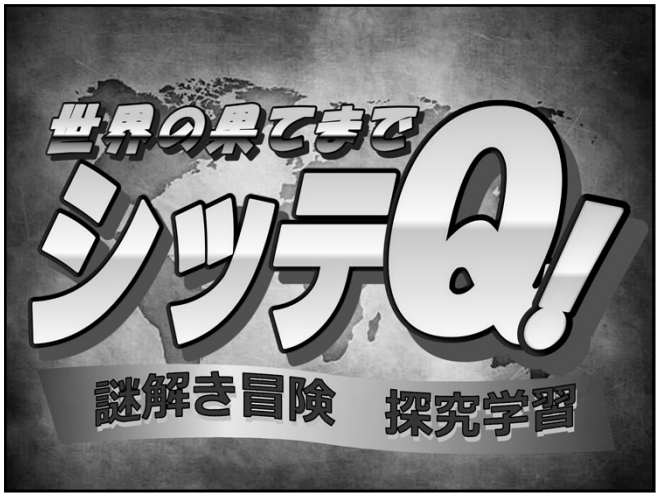
【資料２】６・7時で使用したスリランカに関する写真

【資料３】第９時で使用した日本の写真

❻年生
総合的な学習の時間

戦争の原因

お互いの国について知ること



６年の総合的な学習の時間

（1）世界の果てまで知ってQ

（2）世界の果てまで調べてQ

（3）世界の果てまで伝えてQ

世界の国々について深く知って、君たちの力で発信していこう！！

総合的な学習の時間のポイント

① テーマに合った課題を見付ける

- 疑問を大切にしていく
- いろいろな角度から考える

総合的な学習の時間のポイント

② 課題を解決するために適切な方法を見付ける

- 調べる
- インタビューをする
- やってみる

総合的な学習の時間のポイント

③ とことん調べる

- 本や資料を使って
- インターネットを使って
- 資料館や施設、関係のある人物のところに行って

総合的な学習の時間のポイント

④ 振り返る

- 何ができるようになったか
  何が分かったか
  どんなことを感じたか
- その理由
- これから見通し、疑問

参考資料：総合的な学習の時間オリエンテーション ワークシート

世界の果てまでシッテＱ！

課題見つけシート

６年　　組　　名前（　　）

世界の国々

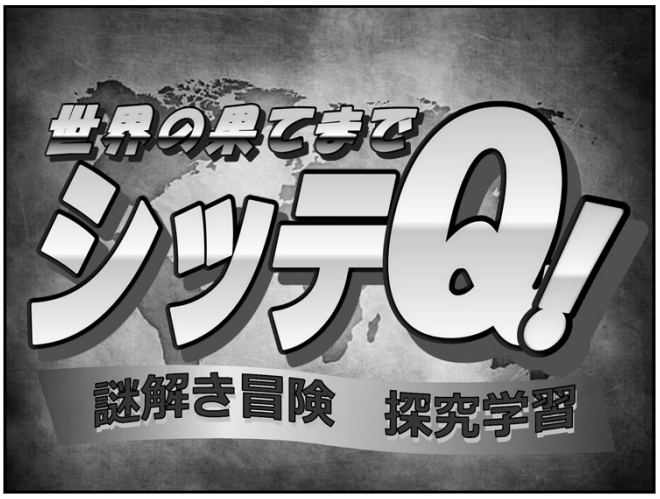
[　　]の国の

[　　]について調べる

〈振り返り〉

参考資料：第1時「『謎解き！スリランカード』を使って、スリランカについて知ろう」

6年生
総合的な学習の時間



どこの国の国旗でしょう？？

スリランカ民主社会主義共和国

今日のめあて

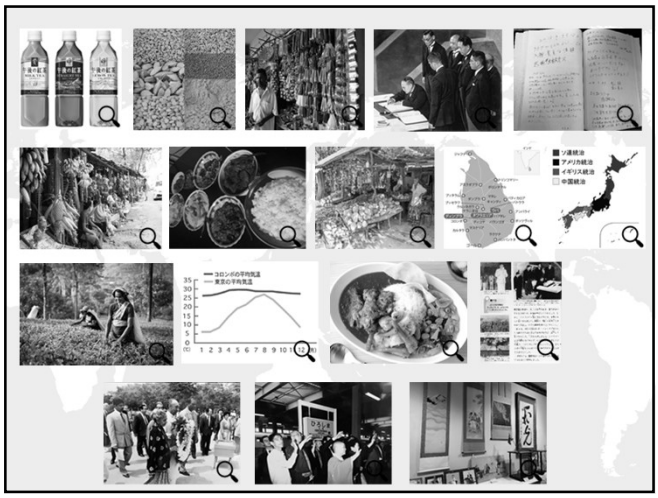
『謎解き！スリランカード』から、スリランカと日本のつながりを考えよう！

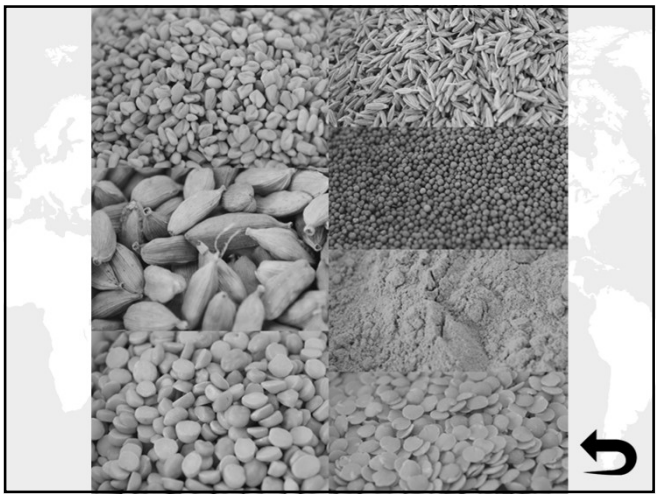
<u>同じスリランカードを持つ仲間を見つけよう！</u>

〈ルール〉
①クラス内で探します。
②４～５人のグループになります。
③グループができたらその場に円になって座ります。
→つなぎ合わせて１枚の写真にしましょう。

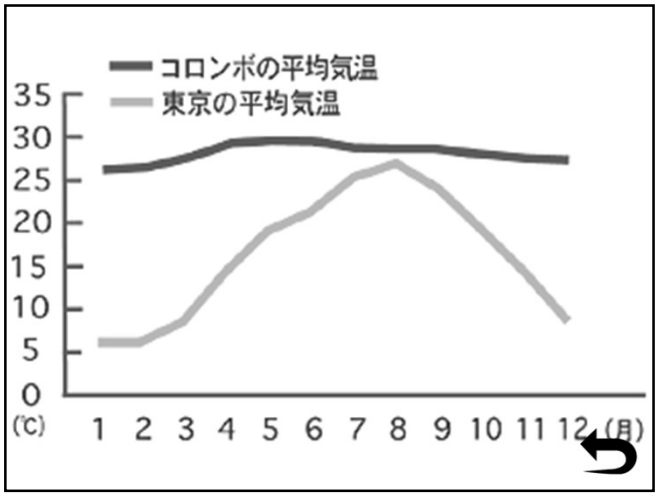
１枚の写真から
気づいたことを話し合おう！

参考資料：第1時「『謎解き！スリランカード』を使って、スリランカについて知ろう」

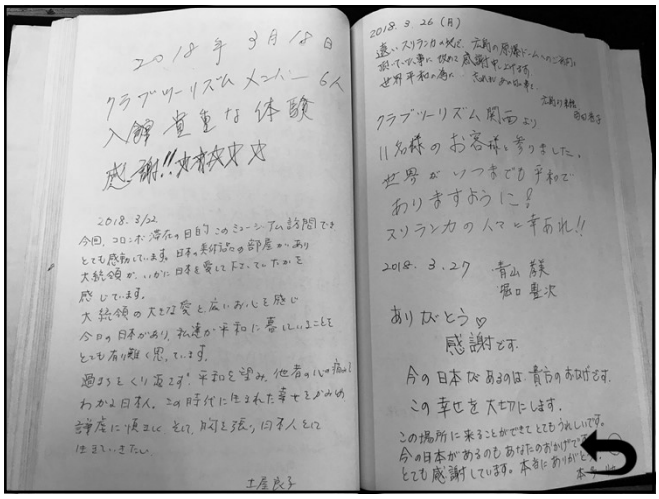




参考資料：第1時「『謎解き！スリランカード』を使って、スリランカについて知ろう」



参考資料：第1時「『謎解き！スリランカード』を使って、スリランカについて知ろう」

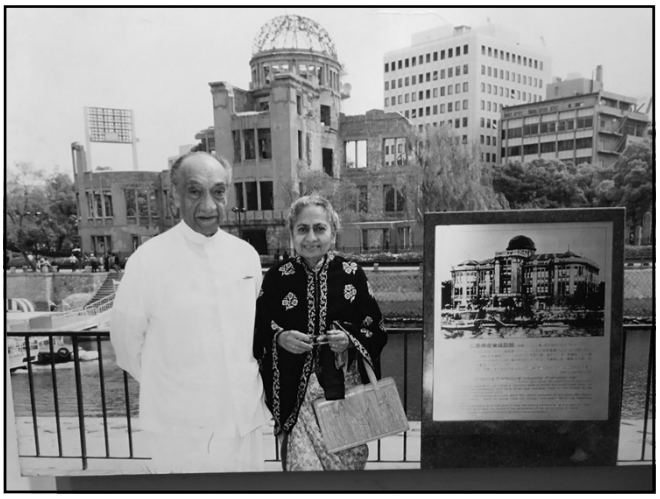


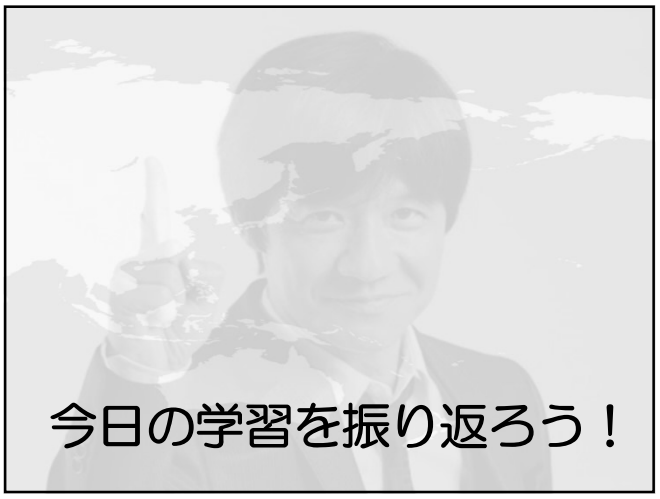
もしも分割統治されていたら

○神戸への修学旅行にはパスポートが必要
○キャンプザニアや三木SAでの買い物はウォン（中国のお金）かドル（アメリカのお金）が必要
○しまなみ海道は作られなかったかも（その他の高速道路や電車なども）
○そもそも、広島はポンド（イギリスのお金）で生活しなくてはいけない
○授業はすべて英語
○下手をすれば、同じ日本人同士で争わなくてはいけなくなっていたかも
○県外の家族や親せきに会えないかも

日本の伝統や文化が消えてしまっていたかも
今のような平和な日本ではなかったかも

参考資料：第1時「『謎解き！スリランカード』を使って、スリランカについて知ろう」





参考資料：第１時ワークシート「総合的な学習の時間『謎解き！スリランカード』」

世界の果てまでシッテＱ！

謎解き！スリランカード

◎写真を見て、気づいたことを書こう！（写真には何が載っているかな？写真と写真を関係付けると何か分かることはないかな？）

〈今日の学習を通して感じたこと・考えたこ

６年　　組　　名前（　　）

世界の果てまでシッテＱ！

スリランカを巡（めぐ）ろう「体験ツアー」

６年　　組　名前（　　）

○『やってみよう！スリランカのスポーツ体験』

〈メモ（初めて知ったこと、驚いたこと、考えたこと、感じたこと）〉

○『味わってみよう！スリランカの食体験』

〈メモ（初めて知ったこと、驚いたこと、考えたこと、感じたこと）〉

○『解いてみよう！スリランカの生活クイズ体験』

〈メモ（初めて知ったこと、驚いたこと、考えたこと、感じたこと）〉

≪今日の流れ≫

１３：４０～１３：５５　　全体説明

１４：００～１４：２０

A…スポーツ体験　B…食体験　C…生活体験

１４：２５～１４：４５

A…生活体験　B…スポーツ体験　C…食体験

１４：５０～１５：１０

A…食体験　B…生活体験　C…スポーツ体験

１５：１５～　体育館でグループ交流　／　振り返り

※　トイレは移動時間内で済ませること！移動をスムーズに行えば、その分体験の時間を多く取れるよ！
※　移動は静かに！他のクラスは授業をしています。
※　グループで協力しよう！
※　知って感じたこと、考えたこと、疑問や不思議に思ったことを大切にしよう！後で見返すことができるようメモをしっかり取ろう。

課題発見シート

（　　）班

世界の果てまでシッテＱ～スリランカ編～

写真					
原因　背景					

比較シート

世界の果てまでシッテ Q～スリランカ編

名前

（　　）

（　　）

（　　）

〈二つの国を比べてみて〉

６年生　総合的な学習の時間　各時間指導案

≪第３時≫

本時の目標：これまで学習したことから、スリランカについてさらに知りたいことを出し合い、交流することができる。

学習活動	予想される児童の反応	支援／評価方法
１．これまで総合的な学習の時間で学習したことを振り返る 〇ジャヤワルダナ氏について 〇これまで調べてきた国について ⇒前時までのワークシートを使って ２．本時のめあてを確認する	・ジャヤワルダナさんは戦後の日本を救ってくれた ・ぼくはアメリカの衣服について調べてきたよ ・私はこんな観点で調べたよ ・スリランカについてもっと知りたいな	
スリランカの「〇〇についてもっと知りたい！」を話し合おう		
３．スリランカについて知りたいことを付箋に書き出す。（個人思考） ４．グループで付箋について交流し、分類整理をする。 ５．グループで出てきた観点について全体で交流する。 ６．振り返りをする。	〇考えにくい児童は、以前調べた他の国の観点を参考にするよう声かけをする。 〇付箋の書き方を疑問文で書くよう統一させる。 〇付箋を台紙に貼りながら分類整理させ、グループで見出し（観点）を考えさせる。 〇グループの台紙を板書に貼り、他の班の観点と比べられるようにする。	

≪第４・５時≫

本時の目標：スリランカの文化を体験し、他国の文化の良さや日本との違いに気付くことができる。

学習活動	指導上の留意事項
１．前時の振り返りを行う。 ２．本時の学習課題を把握する。	○　前時の学習で出てきた知りたいことの観点を確認する。⇒スポーツ、食べ物、言葉
「スリランカ体験ツアー」で、五感でスリランカを感じよう	
３．グループごとに体験ツアーを行う。 ●スポーツ（グラウンド／体育館） ●食べ物（家庭科室） ●生活クイズ（体育館）	○グループごとに体験ツアーを回らせるようにする。 Ａグループ…スポーツから Ｂグループ…食べ物から Ｃグループ…生活クイズから ※時間で区切るようにする。（各ブース 20 分） ○各ブースの担当者がそのブースの説明を行う。 ≪スポーツ≫ ◎クリケットについての説明を聞き、実際に行う。 ⇒本当のルールだと難しいので、簡略的な形で行うようにする。 例）ひじを曲げて投げてはいけない⇒曲げてもよい ≪食べ物≫ ◎ミルクトフィーと紅茶を飲みながら、その他のスリランカの伝統料理などについて話を聞く ⇒・カレーや香辛料について ・ココナッツについて ・伝統料理やお菓子について ≪生活クイズ≫ ◎スリランカの歴史や文化、生活に関わるクイズをスタンプラリー形式で行う。（グループで相談しクイズに答えたら、『スリランカ MAP』にシールを貼る）
４．体験して気付いたことを交流する。（班交流⇒全体交流） ５．振り返りを行う。 ６．次時の予告を聞く。	○交流しやすいように、体験する際に気付いたことや新たに知ったこと、疑問に思ったことをメモできるワークシートを用意する。

≪第６・７時≫

本時の目標：写真からスリランカの抱える問題や課題に気付き、グループで交流し合う中で、その原因ついて考えることができる。

学習活動	指導上の留意事項
１．前時の振り返りを行う。	○前回の生活クイズの中からクイズを出したり、活動中の写真を見せたりして振り返るようにさせる。
２．本時の学習課題を把握する。	
スリランカには、どのような問題や課題があるのろうか？	
３．提示された写真を５つに分類整理し、タイトルを付ける。	○写真を分類させるために、板書に 10 枚の写真を貼り、全体を見通して考えることができるようにする。 ○グループで活動し、写真を台紙に張り付けるようにさせる。 ○写真の細かな部分まで見て話し合い、分類整理させるようにする。
４．それぞれの写真について教師からの解説を聞き、５つ問題・課題の原因について考える。	○「ごみ・環境」「交通整備」「内戦」「生活習慣病」「災害」の５つの問題について追加資料も交えて解説する。 ○問題・課題の原因についてグループで話し合いながら考えさせるようにする。 ○考えることが難しい問題や課題（「内戦」など）については、図書資料なども使いながら考えさせるようにする。
５．全体で交流する。	○児童同士の意見をつなぎながら、その問題や課題の原因・背景について考えさせるようにする。
７．振り返りを行い、次時の予告を聞く。	○『SDGｓ』について紹介し、これを使ってスリランカの問題や課題について整理することを伝える。

≪第８時≫

本時の目標：スリランカの抱える問題や課題を「SDGｓ」を使って整理し、発展途上国が多くの課題を抱えていることに気付くことができる。

学習活動	指導上の留意事項
１．前時の振り返りを行う。 ２．本時の学習課題を把握する。	○スリランカがどのような問題や課題を抱えていたかを確認させる。 ○「SDGｓ」について確認する。
『SDGｓ』について詳しく知り、スリランカの抱える問題や課題をまとめよう	
３．「SDGｓパズル」を用いて、SDGｓの目標について詳しく知る。	○「SDGｓパズル」…世界の現状について書かれたカードを SDGｓの目標と照らし合わせて並び変える。最後に裏返し、すべて正解していれば一枚の写真になる。 ○グループで相談しながら「SDGｓパズル」を行わせるようにする。 ○分からない言葉（「飢餓」「ジェンダー」など）は辞書で調べながら活動してもよいことを伝える。
４．スリランカの抱える問題課題を SDGｓで整理する。	○「比較シート」に SDGｓのシールを貼らせながら、スリランカの問題や課題を整理させるようにする。 ○スリランカが『発展途上国』ということを押さえ活動させることで、途上国の１つとして一般化して考えられるようにする。
５．振り返りを行い、次時の予告を聞く。	○「SDGｓパズル」で完成した写真を使って次回の授業を行うことを伝える。 ○振り返りで書かせた「道標」に、日本と比べたり日本の問題や課題について言及しているものを紹介する。

総合的な学習の時間指導案（略案）

指導者：横矢　清人

１．日時：平成 30 年 12 月 13日（木）　９：３５～１０：２０
２．学級：第６学年１組（男子 12 人、女子 13 人）
３．本時の学習（第９時）
本時の目標：日本の抱える課題や問題を「SDGｓ」を用いて整理し、発展途上国だけでなく先進国にも様々な問題や課題があることに気付くことができる。

学習活動	指導上の留意事項
１．前時の振り返りを行う。	○スリランカにはどのような課題や問題があったかを想起させる。 ○日本が「先進国」ということを押さえ、日本を先進国の一つとして一般化して考えられるようにする。
２．本時の学習課題を把握する。	
日本にはどのような問題や課題があるのだろうか？	
３. 写真から読み取れる日本の課題についてグループで話し合う。 〈子どもの考えそうな日本の課題〉 ・少子高齢化社会 ・自然災害、豪雨 ・エネルギー問題 ・地球温暖化、大気汚染 ・生活習慣病 ・貧困、格差社会	○グループごとに違う写真を提示し、話し合わせるようにする。 ○写真は児童の身近なところを題材に撮り、興味関心を高められるようにする。 ○課題だと思ったことを付箋に書き出させ、写真に貼らせるようにする。
４．全体で交流する。	○発表はグループごとではなく、個別に発表させ、意見をつなげられるようにする。 ○児童から出てきた意見を観点ごとに整理して板書する。 ○問題・課題を出し合ったあと、それぞれの問題の見出しを付けさせるようにする。
５.「比較シート」に SDGｓを使って日本の問題や課題をまとめる。	○スリランカのときと同じように、比較シートに日本の問題や課題を SDGｓシールを使ってまとめさせる。
６．振り返りを行い、次時の予告を聞く。	○次の時間には、これまで書きためた「比較シート」を使って、日本とスリランカを比較することを伝える。

総合的な学習の時間指導案（略案）

指導者：横矢　清人

１．日時：平成 30 年 12 月２０日（木）　９：３５～１０：２０
２．学級：第６学年１組（男子 12 人、女子 13 人）
３．単元名　「世界の果てまでシッテＱ～スリランカ編～」
４．本時の学習（第１０時）

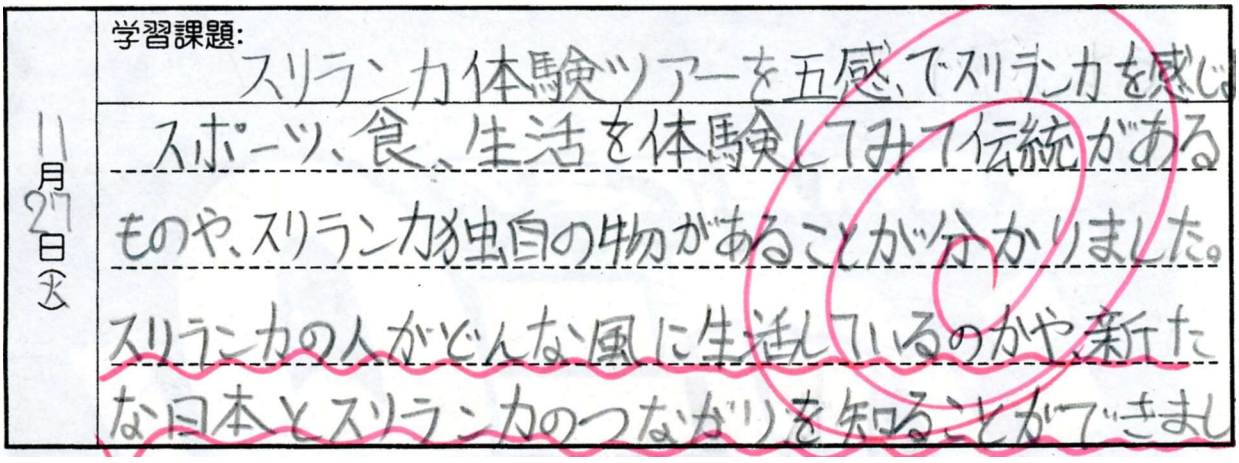
本時の目標：「SDGｓ」を使ってスリランカと日本を比べ、先進国・発展途上国どちらにも問題や課題があることに気付き、他の国にも問題や課題があるのか関心を持つ。

学習活動	指導上の留意事項
１．前時の振り返りを行う。（３分） ２．本時の学習課題を把握する。（２分）	○スリランカと日本が抱える問題や課題について確認する。 ○「比較シート」に貼ったSDGｓシールを振り返えらせるようにする。
『先進国』と『発展途上国』の問題や課題を比べて、気付いたことを交流しよう	
３．個人で考えたスリランカと日本のSDGｓの達成状況を班で検討する。（１０分）	○その国のどのようなところからその SDGｓが達成できていないと考えたのかを交流させるようにする。 ○班で検討する中で、スリランカ・日本それぞれの未達成のSDGｓを１つにまとめる。
４．SDGｓでスリランカと日本を比べて気付いたことを書く。（５分）	○「比較シート」に二つの国を比べて気付いたことを書かせるようにする。 ○『発展途上国』『先進国』ということを押さえ活動させるようにする。
５．全体交流を行う。（15 分）	○気付いたことを黒板の中央に書き、板書を工夫する。 ○それぞれの国で SDGｓのどのようなところが達成できていないのかを押さえ、その国の問題や課題の特徴について考えさせる。
６．振り返りを行い、次時の予告を聞く。（５分）（５分）	○振り返りで書かせた「道標」に、どの国にも問題や課題が存在すること、日本やスリランカ以外の国ではどうなのかを考えているものなどについて言及しているものを紹介する。 ○年明けからは、前期に自分が調べた国について問題や課題がないかという視点で調べなおすことを伝える。

≪第１１時≫

本時の目標：

学習活動	指導上の留意事項
１．前時の振り返りを行う。 ２．本時の学習課題を把握する。	○先進国（日本）や発展途上国（スリランカ）にはそれぞれ問題や課題があったことを確認する。 ○自分が依然調べたことについて振り返る。
自分の調べた国にはどのような問題や課題があるのだろうか	
３．調べたことをもとに、自分の調べた国の抱える問題や課題を予想する。 ４．予想を交流する。 ５．どのような方法でどのようなことを調べるかを話し合い、実際に調べる。 ６．振り返りを行い、次時の予告を聞く。	○SDGｓを使い、達成できていないと考えた目標のシールをワークシートに貼らせる。 ○調べたことをもとに、理由や根拠が考えられたものはシールから吹き出しを付けてメモさせるようにする。 ○


11月27日(木)

学習課題：スリランカ体験ツアーを五感でスリランカを感じ、スポーツ、食、生活を体験してみて伝統があるものや、スリランカ独自の物があることが分かりました。スリランカの人がどんな風に生活しているのかや新たな日本とスリランカのつながりを知ることができまし

12月11日(火)	学習課題: スリランカにはどのような問題や課題があるのだろうか。
	スリランカは楽しい点、良い点がたくさんあります。しかしそこだけを見ていてはいけません。その分問題や課題もあることを知りました。だけどそれを直さずそのまま生きてゆくと先はもっとひどいことになっていると考えます。これはなおさないといけないのでみんなで努力していきたいです。

	知りたいと思いました
12月11日(火)	学習課題: スリランカにはどのような問題や課題があるのだろうか
	今回の学習でスリランカにはたくさんの課題があることが分かりました。特に、環境汚染がとてもひどいと思いました。果物の皮ならともかく、人工で作ったゴミなら生ぐさくなると思いました。その原因はスリランカ人の考えだとぼくは考えました。

12月11日(火)	学習課題: スリランカには、どのような問題や課題があるのだろう。
	一見、良さそうに見える国でも、うらでは、たくさんあるんだなと思いました。本来なら良いことにごみは自然に還るというものが、今の時代に合わず、まちがえてプラスチックなど、人工のものも、自然に帰ると思っていることなど、たくさんありました。

12月11日(火)	学習課題: スリランカにはどのような問題や課題があるのだろうか。
	スリランカには楽しい事ばっかりかと思っていたけど、スリランカなりに重大な問題があることが分かりました。それに向けてスリランカは取り組みをしていてすごいなぁと思いました。

12月11日(火)

学習課題: スリランカにはどのような問題や課題があるのだろうか。

日本にもあるのか

スリランカには楽しくて面白そうな行事があって、良い国だなと思っていたけれど一方、課題や問題もあって、おどろきました。日本と同じように廃棄物の問題や自然災害、水害の問題もあり、どの国にも課題や問題があるんだなあと思いました。その原因にも背景があり、それも詳しく深めていけたので良かったです。私が思っていたような病気、生活習慣という課題があったので、やっぱりと思いました。その課題を解決出来るように私自身も対策などを考えてみたいです。日本にも課題があるので、それをなくせるように考えていきたいです。

12月11日(火)

学習課題: スリランカにはどのような問題や課題があるのだろうか?

スリランカの問題や課題を見てスリランカ人は自分達の昔からの伝統を大事にしていてそれがもととなるものもあると分かりました。例えば甘いものを多く食べる習慣や「ごみは自然に環る」という考え方、自分達の宗教を大事にしすぎておきた内戦などがありました。

12月11日(火)

学習課題:
スリランカにはどのような問題や課題があるのだろうか?

前回の「スリランカ体験ツアー」では、スリランカは、とても楽しそうなところだと思ったけど、10枚の写真を見てスリランカにもこんなにたくさんの課題や問題を見つけて日本とはまったちがうところも見つけました。こうすれば、いいのにと思うところがたくさんありました。

十二月十二日(水)

学習課題:
SDGsについてくわしくしろう

今日の学習では、「SDGs」について、しっかりとしらべました。一つ一つ意味があってスリランカにつながるものもたくさんありました。これには、日本にもつながるところがあると思うのでしらべたいと思います。

十二月二日(水)

学習課題: SDGsについてくわしく知ろう

SDGsには17この目標がありそのひとつひとつの意味をよくしることが出来ました。そして前回やった課題につなげてSDGsのことも考えられてすごく勉強になりました。

12月12日(木)

学習課題: SDGsについてくわしくしろう。

SDGsはいろいろ内容が難しいのがあったけどよく見れば それもそうだと思うものがありました。スリランカにまではまるもの日本にまではまるものがありました。

12月12日(木)

学習課題: SDGsについてくわしく知ろう

SDGsの中でスリランカの課題はどれにあてはまるかを考えてみると意外に多くておどろきました。また、次は日本と比べると思うのでSDGsの達成度を自分たちで感じてスリランカとどれだけ違うか見たいです。

12月12日(木)

学習課題: SDGsについてくわしく知ろう

スリランカには、また、課題などがあるけどちょっとずつ改善できているのだと思いました。今日、ツールをはって思ったことは、廃棄物・環境汚染の課題を改善すれば、動物達にとってのひがいが少なくなっておおまか

12月12日(水)

学習課題: SDGsについて詳しく知ろう

SDGsについて詳しく教えてもらってよく分かったし、面白かったです。その17たすてがスリランカに当てはまるわけではなかったけれど、ほとんどが当てはまりました。廃棄物・環境汚染では海や陸のシールをはったけど、つくる責任、つかう責任のシールもはりました。理由は生産者、消費者が責任のある行動をとっていなくてごみが町中に捨てられた状態になっているんだなと思ったからです。私も物を作ったり買ったりする時には責任のある行動をしていきたいと思いました。日本の問題や課題とスリランカの課題や問題を比べていきたいです。その問題や課題の原因とともに背景も詳しく考えたり、読み取ったりしていきたいです。

12月12日(水)

学習課題: SDGsについて詳しく知ろう。

今回、スリランカが発展途上国だということがかかって、すごい事の裏には課題もあって世界中で問題となっています。苦しむ人の人数がとても多くておどろきました。自分たちにできることはないか

12月12日(水)

学習課題: SDGsについてくわしく知ろう。

スリランカの課題にシールを分けてはっていってみて、スリランカでは特に廃き物や環境汚染の課題が多いなと思いました。なので、廃き物・環境汚染をもっとくわしく知りたいと思いました。

12月12日(水)

学習課題: SDGsについてくわしく知ろう。

今日の学習でSDGsとは、持続可能な開発目標ということが分かりました。ぼくは、SDGsの中で今の世界に必要な目標があると思います。それは、13番のだと思います。生き物が生きていくには、陸と命が大切で今は海の水位が高くなると陸が無くなり陸の生き物は生きていけないからです。

陸

月 日( )

12月13日(木)

学習課題:
日本には、どのような問題や課題があるのだろうか?

日本にも、たくさんの課題があることが分かりました。スリランカと同じように日本にも「環境」の問題があると知りました。わたしは、日本がどんなんでもべんりだと思ってたけどバリアフリーの問題があると知りおどろきました。

12月13日(木)

学習課題:
日本にはどのような問題や課題があるのだろうか。

今回の学習で日本はいろいろな課題をかかえていることが分かりました。その中で最もれどいと思うのは環境問題だと思います。なぜなら、二酸化炭素でえいきょうするのは日本だけでなく世界でもえいきょうをもたらしていると思う

12月13日(木)

学習課題:
日本にはどのような問題や課題があるのだろうか?

先進国の日本でも問題や課題はあって、その中には食べ物の無駄や環境問題などの先進国ならではのものもあると分かりました。また、私達が住んでいるところの近くにもそういう問題場所があると知って意外でした。

→ びっくりですよね!

十二月十三日(木)

学習課題:
日本には、どのような問題や課題があるのだろうか。

日本は、日本で世界と同じように問題や課題があることが分かりました。わたしは今日でてきたいがいに、アメリカとのつきあいかもだと思いました。アメリカだけでわなく他かの国もいっぱいです。そしてわたしたちは、それを考えたいです。

なるほど〜、よく知っているね!!

12月13日(木)

学習課題:
日本には、どのような問題や、課題があるのだろうか?

日本に課題がすくないと思っていたらいがいにタクさんで、それに、大切なことにかかわる、とても重大なもんだいだったことに、とてもおどろいている。

12月13日(木)

学習課題:
日本にはどのような問題があるのだろう

日本にも課題や問題がある事が分かって日本人として、これらのことを解決する為に何かできることはないかと思いました。これを知らない(活動)人がいるから伝えたいです。

伝えていくのも大切なことだね!

月　日（　）

学習課題：日本にはどのような課題や問題があるのだろうか。

日本はスリランカとはちがい先進国らしい問題がありました。だからやはりどの国にもあてはまる問題だと思いました。

"先進国らしい課題"とはどんなもの??

12月13日（木）

学習課題：日本には、どのような問題や課題があるのだろうか？

スリランカにある課題に日本にもあてはまる課題もあることが分かりました。12枚の写真を見てこまかいところが問題があり、すべての国に課題があるのだなと思いました。⇒なるほどー!! 他の国はどうなんだろう??

十二月十三日（木）

学習課題：日本にはどのような問題や課題があるのだろうか。

今日は、いろいろな先生がきて授業を見ていました。いつもどおりに、することと、2回以上発表することを目標にしました。日本の問題点は、けっこうたくさんあってびっくりしました。スリランカと同じくらいありなおしていかないといけ

十二月十二日(木)

学習課題:
日本には、どのような問題や課題があるのだろうか。

感想
私は、日本にも課題があるのは分かっていたけど考えてもいませんでした。不便なことや、食べ物のむだ、環境問題などとスリランカと似ていました。減らせるように私達がとりくみたいです。

12月13日(木)

学習課題:
日本には、どのような問題があるのだろうか

今回やってみて、日本は、世界のことだと思った。日本は食料が日本産ではなく外国産のものが多いからです。あと日本は、高齢化で、落合もおじさんおばさんがいっぱいいるから高齢化が進んでいるのもとても課題だなと思った

知りたいと思いました

12月11日(火)

学習課題:
スリランカにはどのような問題や課題があるのだろうか

今回の学習でスリランカにはたくさんの課題があることが分かりました。特に、環境汚染がとてもひどいと思いました。果物の皮ならともかく、人工で作ったゴミなら生ぐさくなると思いました。その原因はスリランカ人の考えだとぼくは考えました